

参考3 用語集

◆スキーム

枠組みをもった計画のこと。

◆フィージビリティスタディ

新事業を計画する際、採算の点からその事業が成立する可能性を事前に調査すること。
実行可能性調査。採算性調査。

◆コーホート

同年（または同期間）に出生した人口集団。例えば、団塊世代コーホートとは、概ね1947～1949年に出生した人々を指す。

◆トリップ

人の動きのこと。ある人が自宅から目的地まで移動した場合、1トリップとなる。

◆コミュニティバス

市・区・町・村などの自治体が住民の移動手段を確保するために運行する路線バスのこと。地元のバス会社に実際の運行を委託するなどし、必要に応じ経済的な支援を行うのが一般的である。NPO 法人などに事業の運営を委託するケースもある。密集市街地で運行すること等を目的に、通常の路線バスよりも小型車両を導入するケースが多く、バス停間隔も短い。

◆コンバージョン

ある用途のために建てられた建物・施設を、別の用途として用いるために、用途変換すること。例えば、都心部などにおいて、空オフィスを住宅としてコンバージョンする例がある。

◆低未利用地

容積率が余っているにもかかわらず平面利用されている等、都市的有効利用がなされていない土地のこと。

◆クロスセクションデータ

ある一時点における横断的なデータのこと（例：ある一時点における複数地域の気温）。数量データは、このクロスセクションデータと、ある事象の時間的な変化を追った時系列データに大別される。

◆自由度修正済み決定係数

定量モデルの精度を示す尺度。一般的に、自由度修正済み決定係数が 0.7 以上であれば、当該モデル式は一定以上の精度を有するものと判断される。

◆バリアフリー

障害のある人が社会生活をしていく上で、障壁（バリア）となるものを取り除くこと。バリアフリーは、段差等の物理的バリアの除去だけでなく、より広い意味で障害をもつ人の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なバリアを除去していくことにも用いられる。

◆ユニバーサルデザイン

言語の違い、左右の利き手の違い、障害の有無、老若男女といった差異を問わずに利用することができる設計・工業デザインを指す。バリアフリーよりも一歩進んだ概念と捉えられることが多い。

◆クラインガルテン

ドイツ語で「小さな庭」を意味し、ドイツで 19 世紀初めに自給自足のために作られた小作農園がはじまり。現在では市民農園のことをいう。

◆モビリティ

「移動性」と和訳される。広義には道路、自動車、公共交通機関などの移動手段も指す。

◆ネイバーフッド SC

食品スーパーを核とし、ドラッグストアやホームセンターなどのテナントを持つ、近隣住宅街などの小商圏をターゲットとしている SC（ショッピングセンター）のこと。

◆カーシェアリング

あらかじめ登録した会員の間で自動車を共同使用することをいう。自動車の有効活用に加え、都市空間の有効活用、環境負荷の低減等にも寄与する。

◆デマンド交通

利用者のニーズに応じて、地域のタクシー会社や自治体のワゴン車などを乗合で利用すること。

◆パウチャー

「切符」、「クーポン」のこと。

◆インフォーマルケア

行政等による公式な援助ではなく、家族や友人、隣近所の人・ボランティアなどによる私的なケアの総称。

◆コミュニティビジネス

市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生を通じて、その活動の利益を地域に還元するという事業の総称。

◆PFI

Private Finance Initiative の略で民間事業者の資金とノウハウを活用して公共事業を行う方式。

◆指定管理者

民間事業者を指定管理者に認定して公共施設の管理運営を行う方式。

◆リバースモーゲージ

高齢者が持ち家を担保にして資金を借り、死亡時に担保を処分して償還する仕組みが狭義の意味。

◆コーポラティブ

協同の、組合の、という意味で、コーポラティブハウスは、住宅の購入を希望する人たちが建設組合を結成して共同で自由な設計で住宅を建てる方式を指す。

◆KnowThat

それが何であるか、何であるべきかを知ること、一方 KnowHow とは、それを以下に実施するかを知ること。

◆アワニー原則

6人の建築家によって提唱された町づくりにおいて遵守すべき諸原則。①コミュニティの原則、②コミュニティよりも大きな区域であるリージョン（地域）の原則、③これらの原則を実際に適用するための戦略の3つに分けて記されている。歩いていける範囲に各種都市機能があること、都市部における適切な緑地の確保などを謳っている。

◆ベンチャー

新しいアイデアや技術によって新しく事業を起こすこと。

◆リノベーション

既存の建物や市街地に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり価値を高めたりすること。

◆パークアンドライド

都心部郊外の最寄り駅まで、自宅から自動車を使い、駅に近接した駐車場に駐車し、公共交通機関に乗り換えて目的地までいく交通手段のこと。

◆サードパーティ・ロジスティックス

企業の資材管理や製品の流通機能の全体もしくは一部を他の会社に委託すること。3PLと表記することもある。

◆耕作放棄地

1年以上作付けせず、ここ数年の間に再び耕作する考えのない土地で、耕地には含まれない。

◆アーバンツーリズム

都市観光のこと。都市が持つ生活文化を都市づくりに活かし、それを楽しむ身近な旅をいう。

◆インキュベータ

ベンチャー企業に対する資金提供や施設、経営ノウハウの提供によって、その事業拡大を支援する人や組織のことをいう。原意は「ふ化器」のこと。

◆チャレンジショップ

新たに商売を始めようとする人が、本格開業の前に店舗経営のノウハウを学び、自信や経験を積んでもらう仮店舗のこと。地方都市などでは中心市街地の空き店舗等を利用したチャレンジショップが展開されている。

◆まちづくり3法

ゾーニング（土地の利用規制）を促進するための「改正都市計画法」、生活環境への影響など社会的規制の側面から大規模小売店出店の新たな調整の仕組みを定めた「大規模小売店舗立地法（大店立地法）」、空洞化する中心市街地の再活性化を支援する「中心市街地活性化法」の3つの法律を指す。

◆フィーダー線

幹線路線とは違い、端末輸送を担当する路線のこと。

◆マーチャндаイジング

狭義には品揃えと価格設定のこと。広義では、店舗レイアウトからゾーニングや棚割を含み、メーカーの開拓やメーカーと協力した商品の企画開発まで含まれる。商品開発、仕入れ、販売価格など、店舗の総合戦略を指す。

◆デジタルデバイド

パソコンやインターネットなどの情報技術（IT）を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる、待遇や貧富、機会の格差。個人間の格差の他に、国家間、地域間の格差を指す場合もある。

◆eコマース

インターネットなどのネットワークを利用して、契約や決済などを行なう取引形態。ネットワークの種類や取引の内容を限定しない、包括的な意味を持つ。

◆TMO

中心市街地活性化法に基づいて市区町村が定めた「活性化基本計画」に沿った具体的事業を計画したり、推進していくための機関。通常は商工会、商工会議所、第三セクターなどがTMOになる。まちづくりを運営する機関として様々な主体と関わり合い、総合的に調整を行う組織。

◆NPO

ボランティア団体や市民活動団体などの「民間非営利組織」を広く指す。

◆サイクル&バスライド

都市の外縁部等において自動車利用者をバス利用へ誘導させるため、バス停の付近に自転車駐車を整備する等により、バス利用者の利便性を向上させる施策。

◆オムニバスタウン

バスをはじめとする公共交通機関の利用を促進することで、環境にやさしく、高齢者などの交通弱者にやさしいまちづくりを目指す行政施策。

参考4 本調査検討委員会委員名簿と検討経緯

高齢社会における持続可能な地域づくりに関する調査

検討委員会委員名簿

大西 隆 (委員長)	東京大学先端科学技術研究センター教授
岸井 隆幸 (副委員長)	日本大学理工学部教授
藻谷 浩介	日本政策投資銀行地域企画部参事役
高橋 紘士	立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科教授
多田 宏行	三井不動産(株) S&E総合研究所 所長
久保田 啓二郎	国土交通省総合政策局事業総括調整官室調整官
中村 広樹	国土交通省関東地方整備局企画部環境調整官
田宮 佳代子	国土交通省関東地方整備局企画部広域計画課長
森川 泰敬	国土交通省関東地方整備局建政部計画管理課長
畠山 真一	埼玉県総合政策部改革政策局総合計画幹
永田 喜雄	埼玉県県土整備部参事兼県土づくり企画室長
奥沢 信男	埼玉県都市整備部都市計画課長
蛭名 喜代作	神奈川県企画部政策課長
川崎 泰彦	神奈川県企画部広域連携担当課長
高村 栄二	神奈川県県土整備部都市計画課長
岸川 仁和	千葉県総合企画部企画調整課長
名輪 淑行	千葉県県土整備部県土整備政策課長

高齢社会における持続可能な地域づくりに関する調査
検討経緯

【委員会】

委員会	日時	時間	場所
第1回検討委員会	2005年11月30日(水)	10:00～12:00	埼玉県知事公館 1階大会議室
第2回検討委員会	2006年1月18日(水)	14:00～16:00	大手町サンケイプラザ 201・202号室
第3回検討委員会	2006年2月17日(金)	10:00～12:00	泉ガーデンコンファレンスセンター ROOM2
第4回検討委員会	2006年3月22日(水)	14:00～16:00	こまばエミナース 富士の間

【部会・ヒアリング】

部会	日時	時間	場所
第1回社会資本部会	2005年12月21日(水)	10:00～11:30	経団連会館 1106号室
第2回社会資本部会	2006年2月3日(金)	10:00～12:00	経団連会館 穂高の間
第3回社会資本部会	2006年3月1日(水)	10:00～12:00	経団連会館 903号室

ヒアリング	日時	時間	場所
第1回まちづくりの視点からの事務局の委員ヒアリング	2005年12月20日(火)	10:00～12:00	経団連会館 1102号室
第2回まちづくりの視点からの事務局の委員ヒアリング	2006年1月30日(月)	12:00～14:00	経団連会館 1102号室
第3回まちづくりの視点からの事務局の委員ヒアリング	2006年2月27日(月)	10:00～12:00	経団連会館 1101号室

ヒアリング	日時	時間	場所
第1回民間活力導入の視点からの事務局の委員ヒアリング	2005年12月19日(月)	14:00～16:00	経団連会館 1105号室
第2回民間活力導入の視点からの事務局の委員ヒアリング	2006年1月30日(月)	14:00～16:00	経団連会館 1102号室
第3回民間活力導入の視点からの事務局の委員ヒアリング	2006年2月27日(月)	14:00～16:00	経団連会館 1101号室